

事業名 ほうかご実験教室 in 「Roots」

《拠点》子どもとつくる 暮らし★あそび★まなびの場「Roots」（こどもNPO 大清水拠点）

対 象 小学校3～6年生相当

事業内容

子どもの主体的な学びを大切にする地域の学校「Roots」による放課後企画。身の回りの教材を使って、毎回違った科学的要素を盛り込んだ理科実験を行いながら、科学的認識、思考力、判断力を育てていきます。子どもたちの感動体験や興味関心「やってみたい！」気持ちを大切にしながら、時にはプログラムにないテーマや実験にも挑戦します。

事業のポイント

- ・人に教えられたひとつの答えではなく、自分自身の答えを創造できるようになる。
- ・興味関心「やってみたい」気持ちを表現し、形にしていく。
- ・科学的認識を高める。

こんな力を身につけてほしい：担当者の願い

- ・自分の内面を見つめる力
- ・自分の思いや気持ちを表現する力
- ・ものごとの本質を見抜く力
- ・論理的に批判する思考力
- ・計画や目標を立て、目標達成までのプロセスを管理する力
- ・具体的な解決方法を生み出す力
- ・主体的に行動する力（自ら実践する力）
- ・答えのない課題について問い続ける力



エピソード

ある日の教室でのこと、振り子とモーターを使った静電気の実験を行いました。静電気力で振り子が動いたり、モーターがまわるといった実験をみんなでやってみました。その後、「電気がどう移動しているのか」予測を立て、実験してみようということになりました。1人の男の子が、色々自分で試行錯誤しながら作り、色々試し、なんだかとてもモヤモヤしている様子が見て取れました。しかしながら、彼が試みていた仮説と実験は、彼自身の熱心な観察と考えに基づいて行われており、その思考過程において、とても大切な要素が詰まっていました。科学的な事実、あくまで『今現在事実』とされているだけであって、これから先の未来、技術が進んでいくことで、当たり前とされている説が覆る可能性はいくらでもあります。「答えはひとつではなく、答えを教える場ではない。答えは自分で創造する。」そんなことを、ほうかご実験教室で大切にしています。教科書通りの内容だけを伝える授業ではなく、子ども自身が答えを自分で創造し、実践していける、そんな場を作っています。